

「市区町村が使用する外字の実態調査」 報告書の概要

平成24年3月

富士ゼロックス株式会社

外字実態調査の報告

外字実態調査の目的

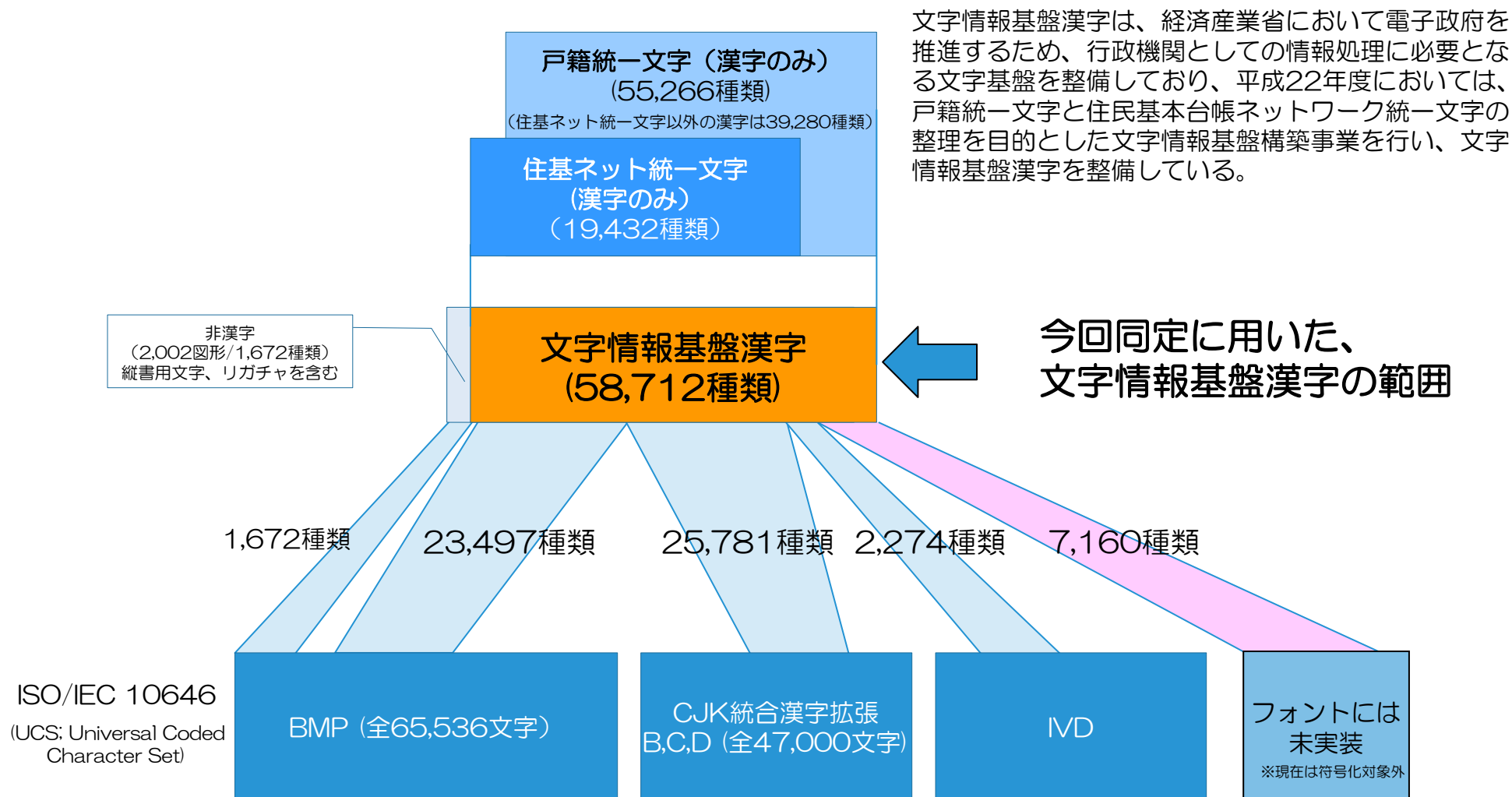
総務省では、自治体クラウドの全国的展開に向けた取組を推進するとともに、住民サービスの向上のための電子自治体の確立に向けて、全省を挙げて取り組むために「自治体クラウド推進本部」を設置し、市区町村における取組状況の把握、課題の抽出・検討及び必要な助言を行うことを目的として、有識者懇談会を設置し、検討課題について具体的な施策を検討、推進してきたところであり、同懇談会での検討を踏まえ、平成23年度にクラウドサービス間の相互運用性の確保について取り組むこととしている。

コンピュータ処理上使用する文字については、各事業者のパッケージにおいて、住民基本台帳ネットワークシステムにおける文字コードに則した文字セットの他に、市区町村が独自に作成した外字を登録する領域が準備され、市区町村毎に多くの外字が設定されている。

このため、①市区町村の業務システムの移行に伴うデータ移行作業において、外字の同定作業やコードの割り当て作業が発生し、作業負担や移行コストが増加すること、②同一市区町村内でのシステム間連携においても、外字データの連携のための同定作業や文字コードの変換テーブル作成の作業が発生し、作業負担や移行コストが増加すること等の課題が指摘されている。

本調査は、市区町村が独自に作成、使用する外字の総数等の状況を把握するとともに、今後文字活用の共通基盤として広く普及することを目指して構築されている文字情報基盤漢字^(※)との同定作業を実施し、市区町村外字の実態について取りまとめを行うものである。

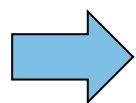
※) 文字情報基盤漢字の概要



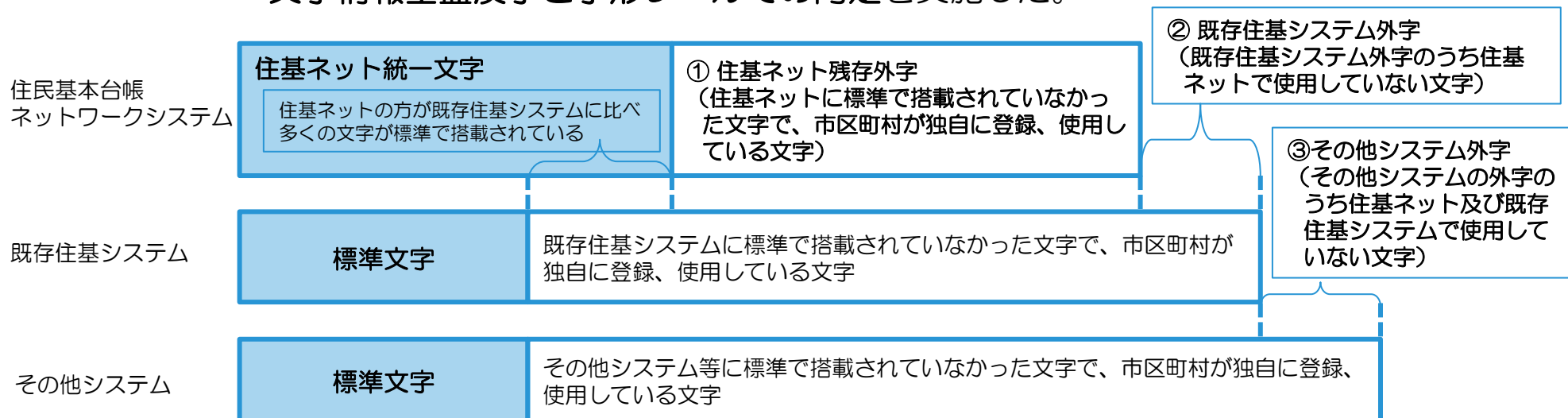
※ 本調査では、平成23年10月26日に公開された正式版のフォント情報をもとに実態調査を実施。

外字情報収集の概要

総務省から全国の市区町村に対して、外字情報の提出を任意に依頼



1,386の市区町村から、1,166,536文字の外字情報を収集し、
文字情報基盤漢字と字形レベルでの同定を実施した。



提出外字の種類	外字数
① 住基ネット残存外字	1,064,660文字
② 既存住基システム外字	69,142文字
③ その他システム外字	32,734文字
合計	1,166,536文字

外字の実態調査結果

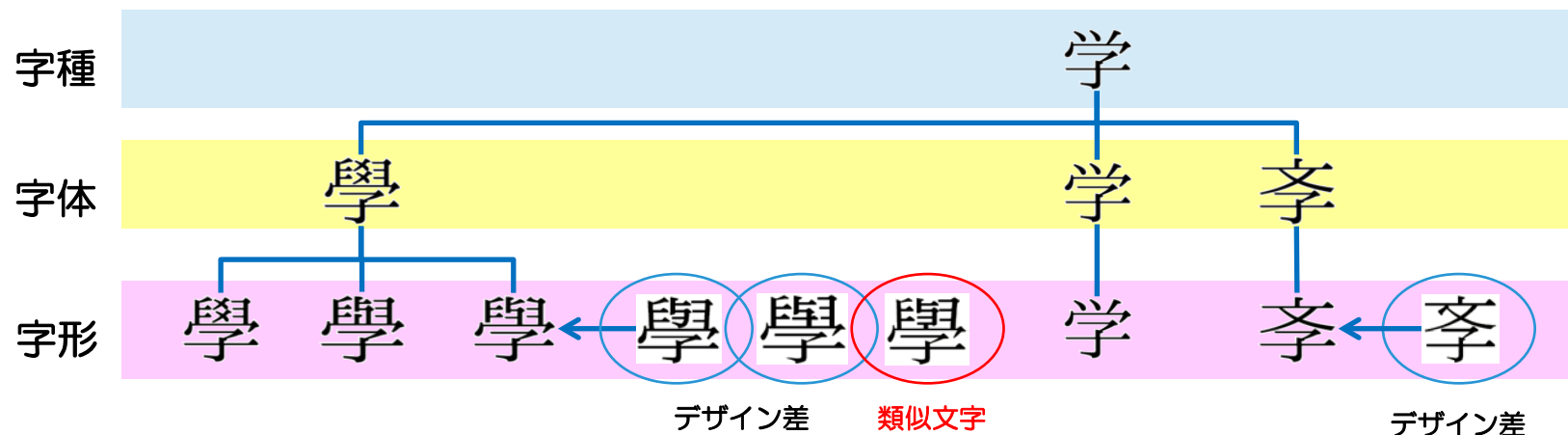
文字種類 包摂基準	文字情報基盤漢字 58,712種類		文字情報基盤漢字に同定できなかった文字 (同定不可能文字)		
	住基ネット統一文字 19,432種類	戸籍統一文字 39,280種類 ^(※)	不明文字	変体仮名	記号等
字形一致 98,030文字 (12,545種類)	74,040文字 (8,856種類)	23,990文字 (3,689種類)			
デザイン差 217,313文字 (12,217種類)	166,452文字 (8,252種類)	50,861文字 (3,965種類)			
類似文字 619,469文字 (14,222種類)	579,528文字 (10,293種類)	39,941文字 (3,929種類)			
同定不可能文字 231,724文字			不明文字 52,294文字	変体仮名 97,791文字	記号等 81,639文字
	小計 820,020文字 (14,852種類)	小計 114,792文字 (6,709種類)			
総合計 1,166,536文字	合計 934,812文字 (21,561種類)		合計 52,294文字	合計 97,791文字	合計 81,639文字

※ 戸籍統一文字39,280種類は、戸籍統一文字の総数55,266種類から住基ネット統一文字に含まれる15,986種類を除いた数字

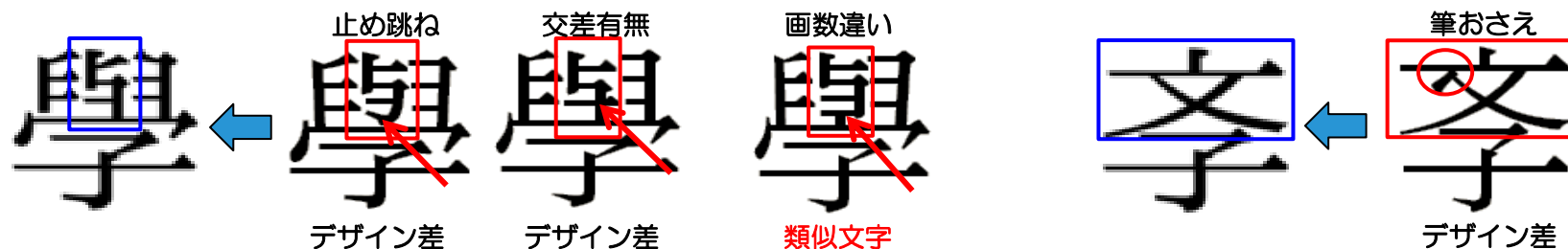
包摂基準の考え方

本調査の包摂基準は、文字情報基盤漢字と同定しようとする文字を「字種」・「字体」レベルではなく、「字形」レベルで同定し包摂することを目的とした。

◆字種・字体・字形の関係



◆デザイン差の適用例



※ 平成20年度経済産業省委託事業「汎用電子情報交換環境整備プログラム成果報告書」より一部引用

作業で定義した包摂基準

(1) 字形一致

- 全ての文字構成要素の配置・画数・形状が一致した文字

(2) デザイン差

- 全ての文字構成要素の配置・画数が同じであるが、文字構成要素の形状の一部が、デザイン差の基準の範囲内で異なっている文字

(3) 類似文字

- 文字情報基盤漢字に類似字形が存在するが、(1) もしくは(2) の基準に当てはまらない文字

(4) 同定不可能文字

- 文字情報基盤漢字に類似字形が存在しない文字、変体仮名及び記号など

※定義で参照した参考文献

○デザイン差の定義

- 「常用漢字表」（平成22年内閣告示第2号）（付）字体についての解説
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム「同定基準【原案】」2004.10.21 附属資料4-15

○類似文字の定義

- 昭和58年3月22日付け法務省民二第1500号通達（新字体と旧字体の関係）
- 平成2年10月20日付け法務省民二第5200号通達（新字体と旧字体の関係）
- 平成6年11月16日付け法務省民二第7005号、第7006号通達（戸籍電算化時の文字取扱い）
- 平成22年11月30日付け法務省民一第2905号通達（誤字・俗字の関係）

デザイン差の基準について

(1) デザイン差の基準

- ① 「常用漢字表（平成22年内閣告示第2号）（付）字体についての解説」と「汎用電子文字情報交換環境整備プログラムにおける文字デザインの考え方」をデザイン差の基準とし、文字構成要素の単位で形状の判断を行った。
- ② 新字体と旧字体の関係が明らかな文字については、デザイン差の基準内であっても類似文字として判断を行った。

(2) デザイン差の基準の詳細

文字構成要素の大小・高低、長短、接触非接触、接触位置、交差有無、点か棒か、傾斜方向、曲げ方折り方、曲げ方跳ね方、止め払い、止め抜き、止め跳ね、運筆方向、見かけ上の画数の違い、八屋根、筆おさえを、デザイン差基準と設定した。以下に判断例を示す。

文字構成要素の 大小・高低	長短	接触非接触	接触位置	交差有無	点か棒か	傾斜方向	曲げ方折り方
硬 ↑ 硬	雪 ↑ 雪	真 ↑ 真	家 ↑ 家	非 ↑ 非	帰 ↑ 帰	契 ↑ 契	頑 ↑ 頑
曲げ方跳ね方	止め払い	止め抜き	止め跳ね	運筆方向	見かけ上の画数の違い	八屋根	筆おさえ
執 ↑ 執	環 ↑ 環	耳 ↑ 耳	配 ↑ 配	考 ↑ 考	匚 ↑ 匚	八 ↑ 八	更 ↑ 更

参考) 文字構成要素の配置・画数・形状

(1) 文字構成要素の配置の例

文字構成要素の画数・形状が同じであるが、配置が異なる文字は、異なる字形の文字とした。

例) 「松」と「忪」は、文字構成要素の画数・形状は同じであるが、配置が異なるので同一字形ではない。



(2) 文字構成要素の画数・形状の例

文字構成要素の画数・形状による、デザイン差と類似文字の判断例

例) 「松」は、木+八+ムから成り立っている。「木」、「八」、「ム」を文字構成要素と定義し、それぞれの要素の形状と画数を包摂基準に用いた。



例えば「八」が、 (2画) の場合は、「八屋根」のデザイン差の基準の範囲内と判断した。

「ム」が、 (3画) の場合は、画数違いにより類似文字と判断した。

※ 平成20年度経済産業省委託事業「汎用電子情報交換環境整備プログラム成果報告書」より一部引用

参考) デザイン差の基準の範囲を超えている類似文字の例

文字構成要素の画数が同じであるが、形状がデザイン差の基準の範囲を超えているので類似文字となった例

豊 ≠ 豊 縄 ≠ 縄 萌 ≠ 萌

丰 ≠ 丰 小 ≠ 小 𠂇 ≠ 𠂇

椴 ≠ 椴

𠂇 ≠ 𠂇

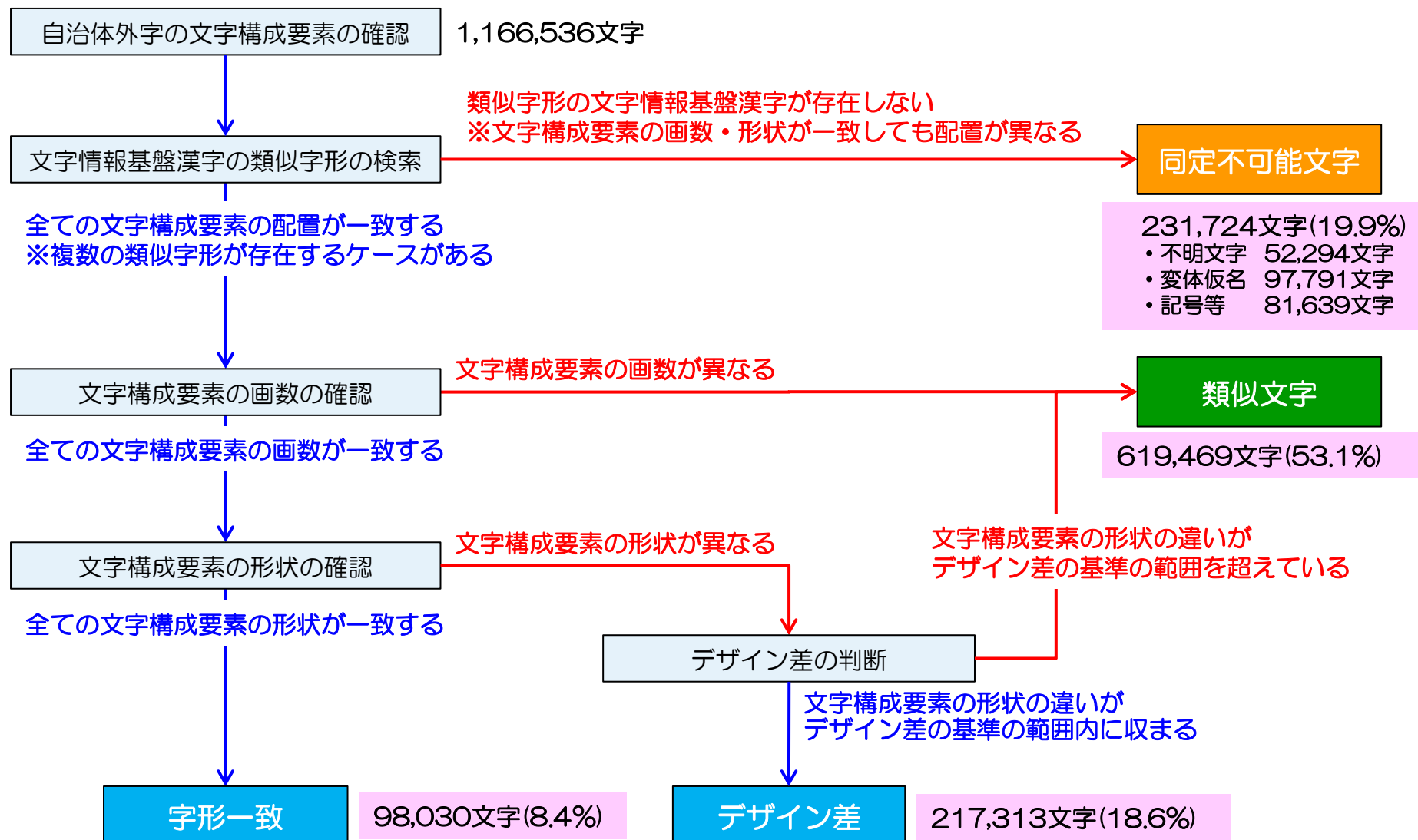
※その他の候補

萌 MJ022239

萌 MJ022240

萌 MJ022241

包摂基準に基づいた作業フロー



文字情報基盤漢字内に存在する字形一致/デザイン差の文字について

文字情報基盤漢字内において、包摂基準に照らし合わせた場合、「字形一致」、「デザイン差」と判断されるものが1,325文字存在した。こうした例は、作業上の判断が困難なため、基準を設けて優先する文字を決定した。

◆文字情報基盤漢字内における「字形一致」、「デザイン差」の文字の優先順位

- ① Unicode定義が存在する文字を優先する。
どちらにも定義が存在する場合は、「UCS実装：○」を優先順位とする。
- ② ①に当てはまらない場合は、住基ネット統一文字コードが存在する文字を優先する。
どちらにも定義が存在する場合は、文字コードの若いものを優先する。
- ③ ①、②に当てはまらない場合は、戸籍統一文字番号の若いものを優先する。

字形一致の例

MJ文字図形名	MJ007459	MJ057061
字 形	切	切
UCS	U+5207	なし
住基ネット統一	J+AF47	なし
戸籍統一	022080	026740

優先順位①に基づき、MJ007459を優先文字とした。

字形一致とデザイン差の例

MJ000027	MJ000028	MJ000029
褰	褰	褰
U+342E(○)	U+342E	U+342E
J+342E	J+BB0D	J+BB0E
なし	なし	なし

Unicodeは同じ定義だったが、UCS実装されていたため、MJ000027を優先文字とした。

デザイン差の例

MJ007369	MJ07370
冴	冴
U+51B4(○)	U+51B4
J+51B4	J+ADFB
019470	019480

Unicodeは同じ定義だったが、UCS実装されていたため、MJ007369を優先文字とした。

類似文字の分析（１）

（１）類似文字中の新字体文字（氏名に利用できるが、文字情報基盤漢字に存在しない新字体）

類似文字に分類された文字の中に、昭和58年3月22日付け 法務省民二第1500号通達、平成2年10月20日付け 法務省民二第5200号通達 及び 平成6年11月16日付け 法務省民二第7005号・第7006号通達（漢和辞典に記載されている正字中の旧字体の構成要素部分に、新字体字形が使われている文字は氏名に利用できる）によって、氏名に利用できる新字体だが、文字情報基盤漢字に存在しない文字が見受けられた。

◆第1500号通達/第5200号通達/第7005号・第7006号通達 新字体の例

	しめすへん	上段：旧字体 / 下段：新字体		しょくへん	上段：旧字体 / 下段：新字体
旧字体	示	衺 祏 祐 禔 禔 禔 禔 禔 禔	旧字体	食	飮 飮 飮 飮 飮
新字体	示	衺 祏 祐 禔 禔 禔 禔 禔 禔	新字体	食	飮 飮 飮 飮 飮
	くさかんむり	上段：旧字体 / 下段：新字体		あお	上段：旧字体 / 下段：新字体
旧字体	艹	苜 苦 莠 莠 苽 苽 苽 苽	旧字体	青	靑
新字体	艹	苜 苦 莠 莠 苽 苽 苽 苽	新字体	青	靑
	しんによ	上段：旧字体 / 下段：新字体	※上記各表内の「上段：旧字体/下段：新字体」 上段に配置している文字はIPAmj明朝フォントの字形で、下段に配置している文字は各市区町村から提供のあった外字の字形である。		
旧字体	辶	迤 迤 迤 迤 迤 迤 迤 迤			
新字体	辶	迤 迤 迤 迤 迤 迤 迤 迤			

類似文字の分析（２）、（３）

（２）「誤字俗字・正字一覧表」の誤字及び簡体字

類似文字の中に、平成22年11月30日付け法務省民一第2905号通達による「誤字俗字・正字一覧表」に示された誤字及び簡体字が、398,320文字も見受けられた。

- ・誤字：戸籍の自治体間の異動や電算化処理において正字に置き換えられるため、現在は使用されていない文字が多く存在すると推測される。

萩 ← 萩 義 ← 義 原 ← 𠂔
※俗字

- ・簡体字：住民基本台帳法の一部を改正する法律（平成21年法律第77号）附則第3条により、その多くが、仮住民票作成時の漢字氏名に係る正字置換によって、数多くの外字が解消されることが予測される。（※一部日本人に利用できる文字も含まれているので注意が必要）

張 ← 张 馬 ← 马 原 ← 原
※日本人に利用できる

（３）「誤字俗字・正字一覧表」の俗字

戸籍や住民票に利用されている可能性が高いと推測される。

馱 ≠ 馱 勤 ≠ 勤

同定不可能文字の調査分析（１）

文字情報基盤漢字と同定できなかった同定不可能文字（231,724文字）を、「不明文字」、「変体仮名」、「記号等」の3つに分類した。その内、「不明文字」については、さらに調査分析を行った。

（１）不明文字（52,294文字）の調査分析

不明文字については、以下の観点で調査分析を行った。

- ① 漢和辞典に掲載されている文字（漢和辞典に同一もしくは類似字形が存在している文字）
- ② 戸籍関連通達及び法務局通知の文字（戸籍関連通達及び法務局通知で利用が認められた字形の文字）
- ③ 「誤字俗字・正字一覧表」の誤字（「誤字俗字・正字一覧表」上で誤字とされている文字）
- ④ 簡体字（入国管理局で利用される簡体字、その他の簡体字）

④に関しては、住民基本台帳法の一部を改正する法律（平成21年法律第77号）により、外国人が住民票に搭載される際に解消される文字と考えられるが、①、②については、現に戸籍や住民票で利用されている文字であるとする。

分類	分類の詳細		外字数	文字種類
①	漢和辞典に掲載されている文字	康熙字典	147文字	46種類
		新大字典	98文字	56種類
		その他の漢和辞典	555文字	92種類
②	戸籍関連通達及び法務局通知の文字		829文字	105種類
③	「誤字俗字・正字一覧表」の誤字		5,692文字	2,037種類
④	簡体字	入国管理局で利用される簡体字	2,145文字	795種類
		その他の簡体字	9,069文字	726種類
—	分類不可能だったもの		33,759文字	—
合計			52,294文字	3,857種類

同定不可能文字の調査分析（2）

（2）変体仮名と記号等

① 変体仮名（97, 791文字）の調査分析

明確な基準の設定は行っていないが、大まかな字形の類似性をもって分類を行ったので、外字数と大まかな文字種類数を記述した。

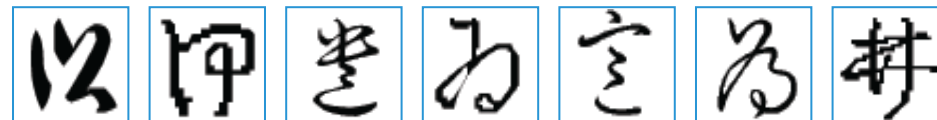
外字数	文字種類
97,791文字	384種類

※94,848文字384種類に分類でき、分類不能は2,943文字

「あ」の例



「い」の例



② 記号等（81, 639文字）

記号等については、調査分析の対応範囲外のため、外字数のみを記述した。

外字数
81,639文字

記号等の例



外字実態調査の今後の活用

全体成果物について

① 文字情報基盤漢字同定リスト

文字情報基盤漢字 同定リスト			全体結果 MJ023001 - MJ024000																							
MJ023079			住基ネット: J+85E4 戸籍統一: 366460 UCS: U+85E4 UCS実装: ○			デザイン差			藤			藤			藤			藤			藤			藤		
藤			デザイン差: 15件 類似文字: 9837件			デザイン差			藤			藤			藤			藤			藤			藤		
同一UCS一覧									類似文字			藤			藤			藤			藤			藤		
MJ023080			MJ023081			MJ023082			類似文字			藤			藤			藤			藤			藤		
藤			藤			藤			類似文字			藤			藤			藤			藤			藤		

② 同定不可能文字リスト (不明文字)

𠂔	嶠	漉	走	洊	膠
𠂔	𧈧	𧈧	𧈧	𧈧	𧈧
𧈧	𧈧	𧈧	𧈧	𧈧	𧈧
𧈧	𧈧	𧈧	𧈧	𧈧	𧈧
𧈧	𧈧	𧈧	𧈧	𧈧	𧈧
𧈧	𧈧	𧈧	𧈧	𧈧	𧈧
𧈧	𧈧	𧈧	𧈧	𧈧	𧈧

(記号)

AM	PM	cc	Co,	Ltd.
(協)	(名)	(社)	(資)	(財)
①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
㊀	㊁	㊂	㊃	㊄
(福)	(遠)	(学)	(資)	(退)

(変体仮名)

𪛗	𪛘	𪛙	𪛚	𪛛
𪛜	𪛝	𪛞	𪛟	𪛠
𪛡	𪛢	𪛣	𪛤	𪛥
𪛦	𪛧	𪛨	𪛩	𪛪
𪛫	𪛬	𪛭	𪛮	𪛯

外字提供市区町村向け成果物について

① 同定結果リスト

(866/866文字)全体結果			外字	MJ文字図形名	補足
1_E0DC	MJ021691	デザイン差	𪛗	𪛗	住基: 戸籍:344780 UCS:U+82EB UCS実装:
1_E0DD	MJ006366	デザイン差	𪛘	𪛘	住基: 戸籍:001200 UCS:U+4E3D UCS実装:
1_E0DE			𪛙		
1_E0DF	MJ009126	類似文字	𪛚	𪛚	住基:J+5805 戸籍:059450 UCS:U+5805 UCS実装:○
1_E0E0	MJ022632	デザイン差	𪛛	𪛛	住基: 戸籍:358940 UCS:U+84FC UCS実装:
1_E0E6			𪛞		
1_E0E7	MJ025036	類似文字	𪛟	𪛟	住基:J+8CC0 戸籍:416510 UCS:U+8CC0 UCS実装:○
1_E0E8			𪛠		
1_E0E9	MJ009401	類似文字	𪛡	𪛡	住基:J+58FD 戸籍:064950 UCS:U+58FD UCS実装:○
1_E0EA	MJ027290	類似文字	𪛢	𪛢	住基:J+9435 戸籍:464820 UCS:U+9435 UCS実装:○

② 同定結果CSV

	A	B	C	D	E	F	G
1	外字	MJ文字図形名	同定区分名	住基ネット統一文字コード	戸籍統一文字番号	UCS	UCS実装
2	*****_1_E000	MJ002878	字形一致		263700	U+405C	○
3	*****_1_E001	MJ023039	デザイン差	J+C0F8	366010	U+85CD	
4	*****_1_E002	MJ022690	デザイン差		359520	U+851A	
5	*****_1_E003	MJ015127	字形一致	J+6C84	194260	U+6C84	○
6	*****_1_E004	MJ060101	デザイン差	J+B961			
7	*****_1_E005	MJ000006	デザイン差	J+3402	000690	U+3402	○
8	*****_1_E006	MJ020594	類似文字	J+7F8E	317600	U+7F8E	○
9	*****_1_E007	MJ010236	字形一致	J+5BEC	083110	U+5BEC	○
10	*****_1_E008	MJ022283	字形一致		353550	U+843D	
11	*****_1_E009	MJ022445	デザイン差		356280	U+8494	
12	*****_1_E00A	MJ023046	デザイン差		366070	U+85CF	
13	*****_1_E00B	MJ022888	類似文字		365270	U+8584	
14	*****_1_E00C	MJ026086	類似文字	J+9060	442580	U+9060	○
15	*****_1_E00D	MJ022339	デザイン差	J+C0F7	355990	U+845B	
16	*****_1_E00E	MJ025036	類似文字	J+8CC0	416510	U+8CC0	○
17	*****_1_E00F	MJ017263	字形一致		235690	U+740B	○
18	*****_1_E010	MJ013157	字形一致		154440	U+65EA	○
19	*****_1_E011		同定不可能				
20	*****_1_E012	MJ011873	類似文字	J+6176	126770	U+6176	○
21	*****_1_E013	MJ023069	デザイン差		367110	U+85DD	
22	*****_1_E014	MJ011949	類似文字	J+61B2	127190	U+61B2	○
23	*****_1_E015	MJ034907	字形一致		098200	U+21FEB	

※同定結果CSVの項目について

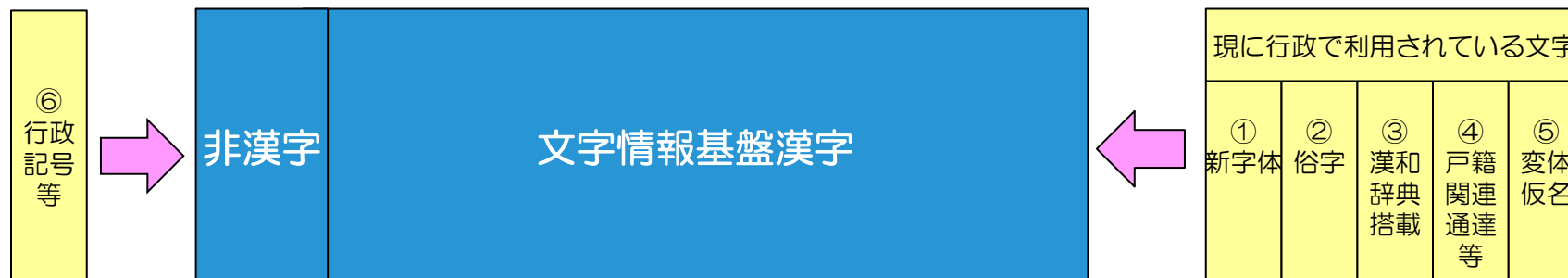
- ・外字 : 市区町村で利用している外字コード
- ・MJ文字図形名 : 外字に同定されたMJ文字図形名
- ・同定区分 : 字形一致/デザイン差/類似文字/同定不可能
- ・住基ネット統一文字コード、戸籍統一文字番号、UCS : 外字に同定されたMJ文字図形に付されているそれぞれの番号
- ・UCS実装 : UCS実装の有無 (○/表示なし)

文字情報基盤漢字の拡充に向けた課題

文字情報基盤漢字同定リスト及び同定不可能文字リストを確認していくと、本来氏名に利用できる文字でありながら、文字情報基盤漢字に搭載されていない文字が存在することが判った。

成果物	課題
文字情報基盤漢字同定リスト (類似文字に分類された文字)	① 氏名に利用できる新字体文字が存在する
	② 出現頻度の高い俗字が存在する
同定不可能文字リスト	③ 漢和辞典に掲載されている文字が存在する
	④ 戸籍関連通達及び法務局通知の文字が存在する
	⑤ 変体仮名が多数存在する
	⑥ 行政用途に利用されている記号等が存在する

文字情報基盤における行政利用文字の網羅性を向上させ、外字の発生しない文字情報基盤を実現するために、次回以降の文字情報基盤漢字への文字追加の検討の際には、実際の行政での利用状況等を確認しながら、今回の結果を参考にして頂きたい。



すべての市区町村での活用シーン

（１）文字運用ポリシーの策定に活用

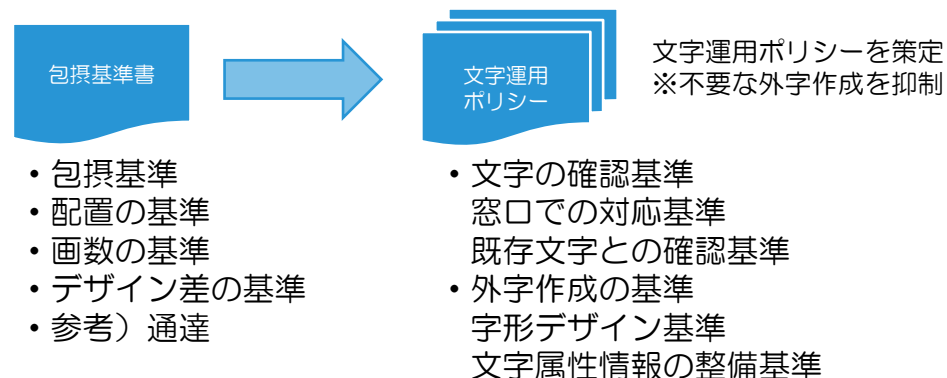
包摂基準書（包摂基準書の概要は、本書7頁からを参照）には、文字運用に役立つ定義がなされているので、市区町村内の文字運用ポリシーとして流用し活用できます。

文字運用ポリシーを策定し運用することで、外字を作成する基準が定義され、不要な外字を作成することがなくなり、文字運用負荷の軽減につながります。

(2) 文字情報基盤漢字とサイトの活用

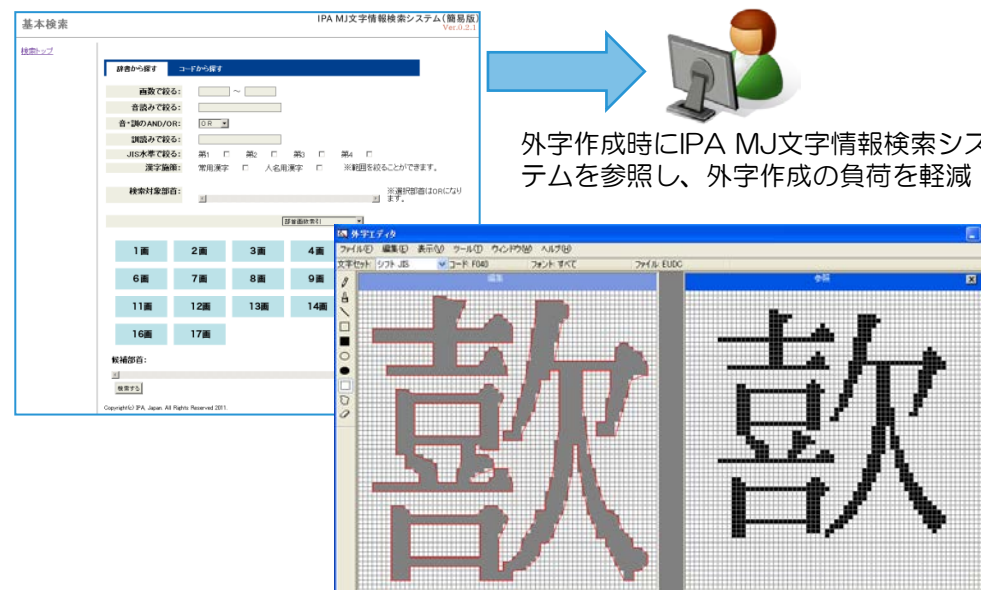
文字情報基盤漢字（フォント・属性情報）は、オープンライセンスの考え方をベースに策定されており、誰でも無償で活用できます。

- ① 文字情報基盤漢字を参照した文字の作成
IPAmj文字をそのままコピーして、市区町村内の各種業務システム用外字として利用することができ、デザイン性の向上や、外字作成の負荷軽減が期待できます。
- ② 窓口業務での利用文字範囲の説明に活用
IPA MJ文字情報検索システムではIPAmj全文字について、文字属性情報が設定されており、簡単に類似文字を検索できるばかりでなく、戸籍統一文字であることもわかるので、窓口での住民への説明に活用できます。
また、他市区町村と文字字形を伝達する際に、文字情報基盤漢字のMJ文字図形番号を使うことで、正確に伝達することができます。



IPA MJ文字情報検索システム

http://ossipedia.ipa.go.jp/ipamifont_glyph/html/GldVisitor/GldVisitorGlyphSearchBasic.html



外字提供市区町村での活用シーン①

(1) 外字の整理に活用

同定結果リスト及びCSVには、住基ネット統一文字及び戸籍統一文字に関連付けられた文字（字形一致、デザイン差及び類似文字）について、住基ネット統一文字コード、戸籍統一文字番号を掲載しているので外字の整理に活用できます。

① 住基ネット統一文字に一致した外字について

住基ネット統一文字に一致した外字（字形一致及びデザイン差）は削除し、本来の住基ネット統一文字コードに変更し整理することができます。整理する際には、データの変更を伴いますので十分な確認が必要と考えますが、これらの外字を全て解消できると、全国で約24万文字の外字解消につながります。

② 戸籍統一文字に一致した外字について

戸籍統一文字に一致した外字（字形一致及びデザイン差の約7万文字）は、現に戸籍で利用されている文字が住基ネット統一文字に存在しないため、外字を作成し利用している文字と推測されます。外字の整理には、十分に戸籍を確認し注意して行う必要があります。

③ 類似文字中の誤字及び簡体字（約40万文字）について

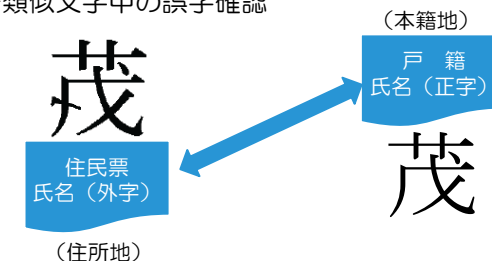
類似文字中の誤字については、既に戸籍電算化などで正しい文字に置き換えられている可能性があります。戸籍を確認して文字の確認をしたのちに、住民票等のデータを修正することで、外字解消につながります。

類似文字中の簡体字については、住民基本台帳法の一部を改正する法律（平成21年法律第77号）附則第3条によりその多くが正字等に置き換えられている可能性があります。仮住民票等を確認して文字の確認をしたのちに、データを修正することで、外字解消につながります。

◆住基ネット統一文字と一致した外字

MJ017285	字形一致	MJ021641	字形一致
琺 琺	住基: 225180 UCS: U+746D	苓 苓	住基: 344530 UCS: U+3023
邓 邓	住基: 448140 UCS: U+9093	蓁 蓁	住基: 357189 UCS: U+64C1
熙 熙	住基: 211058 UCS: U+7199	祿 祿	住基: 277075 UCS: U+7964
椀 椀	住基: 161840 UCS: U+691B	苗 苗	住基: 344550 UCS: U+3026

◆類似文字中の誤字確認



◆類似文字中の簡体字確認

張 → 張

外字提供市区町村での活用シーン②

(2) 文字環境の見える化に活用

同定結果リスト及びCSVを用いて、市区町村内の各種業務システムや市区町村外とのデータ連携に係る外字の見える化に活用できます。

① 提供外字と文字情報基盤漢字の見える化

同定結果リストでは、提供外字と文字情報基盤漢字の対照を見える化した上でフィードバックしています。市区町村内の文字環境の見える化を行う際の参考として活用することができます。

② 各種業務システムにおける文字環境の見える化

同定結果リストと同様の内容をCSVにて提供していますので、このCSVと「既存住基システム文字」と「住基ネット文字」の文字対照表を連結し、さらに「既存住基システム文字」と「各種業務システム文字」との文字対照表などを連結し組み合わせることで、各種業務システムと文字情報基盤漢字の対照を見える化することができ、今後の文字整理方針の策定に役立てることができます。

③ 低解像度外字の再作成時の字形参照

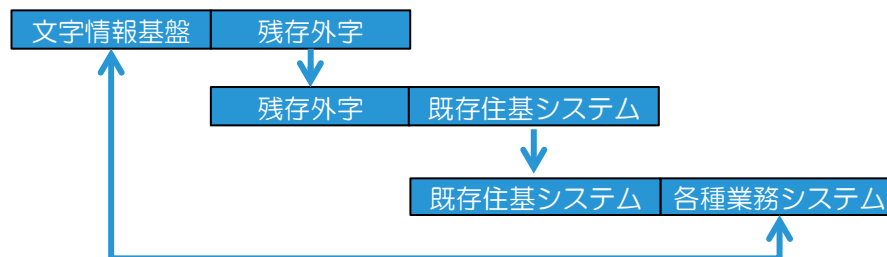
文字情報基盤漢字と一致した外字には、MJ図形名が付されているので、低解像度外字の再作成時に文字情報基盤文字のデザインを参照して利用することができます。証明書などに印字する文字のデザインが簡単に綺麗にできるので、住民との文字トラブルの解消にもつながります。

◆外字の見える化

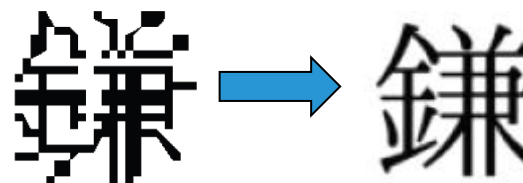
(866/866文字)全体結果		
外字	MJ文字図形名	補足
1_E0DC	MJ021691	デザイン差
苦	苦	住基:J44780 戸籍:U+82EB UCS実装:
1_E0DD	MJ006366	デザイン差
麗	麗	住基:J001200 戸籍:U+4E3D UCS実装:
1_E0DE		
1_E0DF	MJ009126	類似文字
堅	堅	住基:J+5805 戸籍:059450 UCS:U+5805 UCS実装:○

外字	MJ文字図形名	補足
1_E0E6		
书		
1_E0E7	MJ025036	類似文字
贺	賀	住基:J+8CC0 戸籍:416510 UCS:U+8CC0 UCS実装:○
1_E0E8		
环		
1_E0E9	MJ009401	類似文字
寿	壽	住基:J+58FD 戸籍:064950 UCS:U+58FD UCS実装:○

◆文字情報基盤漢字と各種業務システムにおける文字環境の見える化



◆低解像度外字の解消



外字提供市区町村での活用シーン③

(3) システム間連携やシステム移行時の標準文字に活用

同定結果リスト及びCSVには、文字情報基盤漢字の文字図形番号及びUCSを掲載しているため、これらの情報を用いて各種業務システムの文字環境見える化を行うことができます。各種業務システムの文字を文字情報基盤漢字に関連付けすることにより、文字情報基盤漢字をシステム間連携やシステム移行の標準文字に活用することができます。

① システム間の連携用データの標準文字

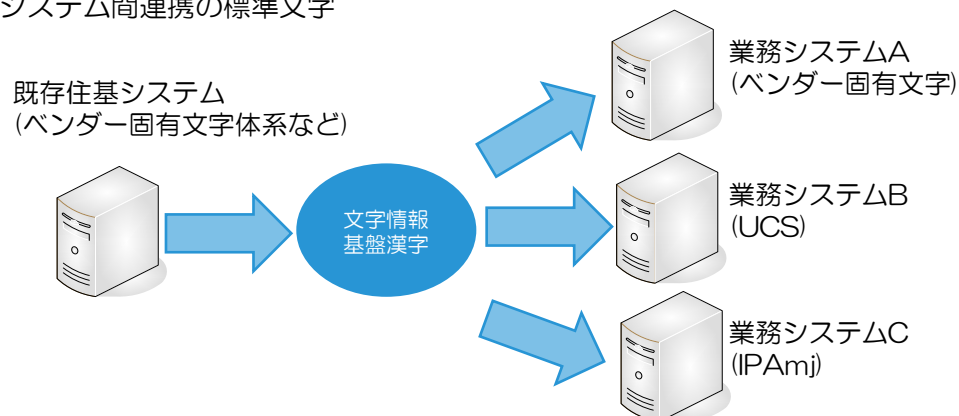
文字情報基盤漢字と各種業務システム文字コードを関連付けすることで、システム間連携の標準文字コードに文字情報基盤漢字コードを利用できるようになり、システム間連携構築の際のベンダーロックを解消することにつながります。

② 新システムへの移行時の標準文字

既存システムの文字コードと文字情報基盤漢字の対応付けを行った上で、別途総務省がまとめたデータ移行用の中間標準レイアウトと合わせて活用することで、システム移行時に固有文字コードや固有移行レイアウト等によるベンダーロックを解消することにつながります。

これらによって、自治体クラウドへの円滑なデータ移行ができます。

◆システム間連携の標準文字



◆システム移行時の標準文字

